

力 木造住宅の制震を学ぶ

Presentation 1.....

「簡単施工のコンパクト制震装置」

フクビ化学工業株式会社 システム製品開発課 専門課長
幸谷 栄治氏

木材へビス留めによる簡易な施工ながら、建物の変形を20~50%抑制し、損傷の低減する仕組みと効果を実例を交えてご紹介します。

フクビ化学工業株式会社
システム製品開発課
専門課長
幸谷 栄治
Eiji Koutani



1990年フクビ化学工業株式会社に入社。
その後、商品開発部に配属となる。
主力の樹脂押出成形を用いた建材商品の開発と平行して、耐震関連商品の開発に携わる。耐震補強用の接合部補強工法として2002年発売の「ARS工法」の開発を行い、続いて「REQダンパー」の開発を行う。
お客様への耐震に関する講習や商品説明等を実施し、耐震補強の普及に努めている。

株式会社ミサワホーム総合研究所
構造振動研究室
室長
梶川 久光
Hisamitsu Kajikawa



1996年 ミサワホーム株式会社に入社。構造開発課に配属。
2002年 博士(工学)の学位を取得する。
2004年 株式会社ミサワホーム総合研究所に出向。
構造振動研究室に配属。
入社以来、旧38条認定、部材製造者認証、型式適合認定などの許認可関係業務を含む、住宅の構造開発・設計全般に携わっている。

Presentation 2.....

「巨大地震後も補修無しで住み続けられる 制震システムの考え方」

株式会社ミサワホーム総合研究所 構造振動研究室 室長
梶川 久光氏

木造住宅の壁に2カ所設置するだけで、巨大地震時にも構造体の損傷を抑制し、内装仕上げ材の損傷も大きく低減し、巨大地震後も大きな補修無しで住み続けられる制震システムをご紹介します。

日時 **2012年2月29日(水)** 18:00~19:40、19:50~20:20 (フリーディスカッション)

会場 **社団法人 東京建築士会 会議室**
東京都中央区晴海 1-8-12 オフィスタワーZ棟 4階 (トリトンスクエア内)

定員 50名 (申込先着順)

会費 正・準会員 1,000円、一般 2,000円

CPD 2単位

主催 (社)東京建築士会
(社)日本建材・住宅設備産業協会

企画 (社)東京建築士会 青年委員会
(社)日本建材・住宅設備産業協会 企画委員会 景観部会

後援 (社)日本木造住宅産業協会



Bridgeとは

建築基準法の法改正・環境問題など、建築を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、住関連ビジネスにおいても、高度な情報・知識・技術を駆使できるプロが求められています。そして生活者(消費者)はより快適な環境の実現を求め、各産業への期待がますます大きくなっています。このような時代、材料設備を供給する企業産業と生活者に近く設計及びスペックする建築士との勉強会を開催することにより、横断的な情報交流・研究の「場」となり、自己研鑽だけでなく新たなモノが創造(アウトプット)される環境となることを目指しています。

Bridge 力 木造住宅の制震を学ぶ
2012年2月29日(水) 参加申込 ▶▶

お申し込みはこちらをクリックしてください。

ブリッジ連続講座 次回のお知らせ
「再生」

(2012年5月予定)